

# fulgo フルゴチェア

鮮やかなクロスが覗く、バックスタイル。  
シンプルながら個性的なデザインが、事務チェアの基本ニーズである「汚れにくさ」「こわれにくさ」を実現。

ひとクラス上のロックン調整機能に加え、背のハイ・ロー切替機能も搭載し、どなたにも快適にお使いいただけるチェアです。



## 汚れにくさを実現する、 取手付背もたれ

事務用チェアでもっとも汚れやすい場所、それは背もたれ上部。

フルゴチェアは背もたれシェルの上部が大型の取手になっていたので、引き出しやすく、また汚れにくい特徴があります。更に取手部分はブランケットをかけたりと、多目的に活用いただけます。

用途に応じて、

## ハイ・ロー切替可能

背もたれは、背クッションの取り付け位置を変えることによって、ハイバックとローバックの切替が行えます。

たとえば、職階対応をハイバックとローバックで運用しているオフィスでは、昇格時のチェア買い替えコストを削減でき、運用がぐっと楽になります。

取替えは工具無しで簡単に行えるので、背もたれやクロスが汚れた際にも便利です。



## ひとクラス上の、快適調節機構



### 1 腕をしっかり支える、アジャスタブル肘

長時間のキーボードやマウス操作は首や肩、腕に大きな負担をかけます。アジャスタブル肘ならこの疲労を緩和することができます。肘当て部には、当たりがソフトなエラストマー樹脂を採用しました。



#### 肘当ての高さ調節

10段階(約12mmピッチ)の高さ、120mmの範囲で調節可能。座面の高さが一番低い状態でも、H720mmのデスク天板とフラットな高さでご利用いただけます。



#### 肘当ての左右角度調節

左右に15°ずつ、計30°の回転調節ができます。

### 4 ベンディングシート

座面のインナーシェル(芯材:ポリプロピレン樹脂製)には、最適な箇所が着座姿勢に応じて自在にたわむように多数のスリットを設けています。

また厚みにも微妙な変化をつけて、フレキシブルに姿勢変化に対応し、身体になじむ座り心地も実現しました。



### 2 思い通りのロッキング(リクライニング)を実現

背もたれは、アングルムーブ・シンクロロッキング方式。背にもたれるとくるぶしを支点に座面が後にスライドしながら沈むので、大腿部への圧迫が軽減されます。ロッキングの強さは座面下のノブで調節できます(a)。また、ロッキングの角度固定も可能。こちらもストッパーは座面下にご用意しています(b)。



### 3 無段階の座面高さ調節

座面下のレバーにより、座面の高さ調節も片手で操作可能。座面は42~54cmの間で、無段階の調節が行えます。

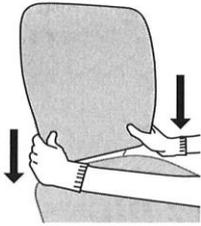


# パーツ交換の方法

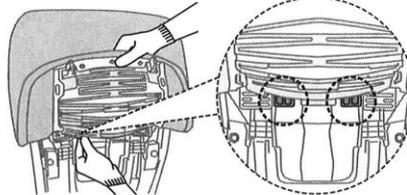
## <背クッションの交換>

### ■取り外し

- ① 背張加工品の下端両サイドを持って、下に引っ張りながら手前に引きます(2ヶ所)。

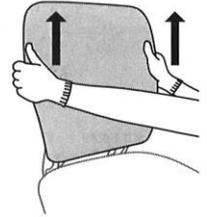


- ② 背張加工品の下端を図のようにめくりあげて、背取付けレバーを手前に引きます(2ヶ所)。



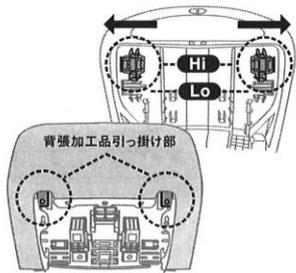
背取付けレバー  
拡大図

- ③ 背張加工品の両サイドを持ち、上方に持ち上げて外します。

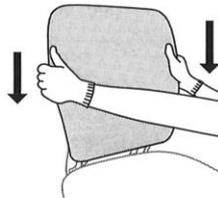


### ■取り付け **⚠** レザー張地は、背もたれタイプハイバックのみの仕様となります。ローバックへの切替は異音の原因となりますので、ご注意ください。

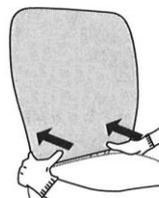
- ① 背取付けパーツをHi、Loにどちらかに左右対称に取り付けます。



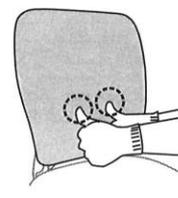
- ② 背取付けパーツに背張加工品を上から下へ引っ掛けます。



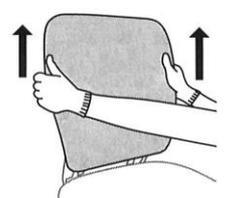
- ③ 背張加工品の下部両サイドの凹み確認部をカチッと音が出るまで背に押しつけます。



- ④ 腰部の辺りに突起がある場合、その箇所を背に押し付けて突起を引っ込めてください。



- ⑤ 背張加工品の両サイドを持ち、上方に持ち上げて外れない事を確認します。

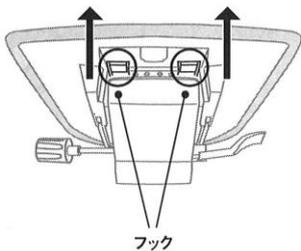


(注) 背クッションがはまりにくい場合は、座クッションを取り外すと、取り付けやすくなります。

## <座クッションの交換>

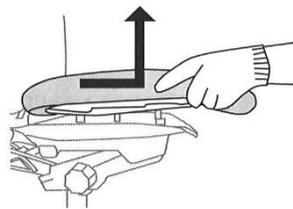
### ■取り外し

- ① 座面裏部中央に2箇所あるフックを押さえて、手前に引き出します。



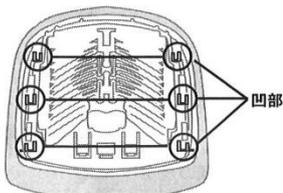
フック

- ② 矢印の向きに座面をスライドさせて、上方に外します。



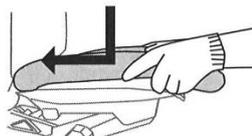
### ■取り付け

- ① 座クッション裏の凹部と座アウターシェルのキャッチ部とをあわせるようにして、座クッションをセットします。



凹部

- ② 座面を押さえながらカチッと音がするまで矢印の方向にスライドさせます。



キャッチ部

